

みんなのちから・春まるかじりツアー

4月1日(水) ~ 4月5日(日)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム 名札作り	研修①「ナイトハイク」 座学「リーダーとは？」
2日目	研修②「野外炊飯」	研修③「工作」	研修④「キャンプファイア」
3日目	研修⑤「棒焼きパン」 最終確認	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	レクリエーション
4日目	野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
5日目	棒焼きパン 思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： リーダーに憧れる参加者9名が3日間のリーダー研修を経て、実際にキャンプリーダーとして頑張ってもらいます。尼崎で自己紹介をした後、電車で施設の最寄り駅まで向かい、昼食を挟み、施設へ歩いて向かいました。途中、雨が降り始めましたが皆楽しく賑やかに進まれました。電車に乗りはじめはお互いぎこちなく、会話も限定の方としかありませんでしたが、時間が経つにつれ、会話に費やす時間も増え、誰とでも気がねなく会話が弾んでいました。施設に到着すると早速、研修が始まりました。まずはアイスブレイクの意味も含め『仲間作りゲーム』を行いました。仲間を作るために必要なものは何か、仲間と力を合わせるとは何かをゲームを通して感じてもらいました。レクリエーションを経て、ますます仲間意識が高まっていき、誰もが誰とでも話している状況で次の研修、『リーダーとしての知識』を学びました。施設の使い方や持ち物の確認、常に心がけておくことなど、短い間に沢山の知識を学びました。夕食も、リーダーとして気を付けなければならないポイントや意識付けと次々と蓄えないといけない事があり、ジュニアに少し困惑の様子が見られました。生活棟内にて『リーダーとは？』という内容で話し合ってもらいました。各々が思い描くリーダー像は違い、そこから1つの答えを出す事は非常に難しく、時間内に皆が納得する答えは出ませんでした。答えは出なくても、「話し合う」事が大事であり、こうしてリーダーへの意識を高めてもらいます。明日は、主に実技になります。頑張っていきましょう！



二日目： 朝ごはんは『オープンサンド』を作りました。これも4日目の朝食で再び作るのですが、ただ作るのではなく、手順のポイントを抑えないといけません。ただ、さすがジュニアメンバーです。要領が分かると自分たちで次々と役割を分担し、予定通りに作ることができました。ボリュームもなかなかあったので、当日は配慮していかなければなりません。朝食後は『野外炊飯』の研修です。覚えなないといけないこと、確認しないといけないことが沢山あるプログラムです。みんな、メモを取るのに必死でした。過去に野外炊飯をしたことがあるジュニアは持っている豆知識を披露され、それをみんなで共有し、自分たちのものにされていました。今回はカレーライスをつくりました。相変わらず手際が良く、味もかなり上々のものが出来ました。美味しいものが完成したので、束の間の休息という事で、笑みがこぼれていました。片付けも同様に手分けし、順調に進められました。順調過ぎるゆえ詰め甘い部分もありました。詰めが甘いところはみんなで再確認し、気を引き締め合いました。午後からはリーダーの意識を高めてもらうために「みんなのリーダー目標」を考えてもらいました。内容が難しく、みんなで決める事もあって、大いに議論が沸きました。試行錯誤の結果決まった目標が『みんなが満足するキャンプをつくる』でした。夕食後は、キャンプファイアの練習をしました。ジュニアが主になってもらうので、自分達が出来たレクリエーションを決め、一度やってみました。まだまだ練習が必要で、話し合いが必要です。その意識もジュニア達は分かっているので、「練習しよっ!!」声掛けが出ていました。明日から、まるかじりメンバーと合流です。緊張が高まってきています。



三日目： 午前から緊張が走っていました。お昼にはまるかじりメンバーと合流します。それに向けて最終確認をしています。キャンプファイア、インフォメーション、リーダーとしてのポジション、まるかじり一日目のタイムアップの確認、沢山の確認事項や考えないといけないことがありました。そして、ついにまるかじりメンバーとジュニアメンバーとが合流しました。ジュニアはまるかじりメンバーに自己紹介をし、グループに分かれて、レクリエーションを行いました。初めましてのグループなので、お互いの緊張をほぐす為に沢山話し声が聞こえていました。施設の使い方や、お風呂の準備などのインフォメーションは全てジュニアによって行われました。研修で学んだ内容を必死に自分の口で説明されており、その必死さにまるかじりメンバーも姿勢や態度で応えていました。夕食、入浴も終え、ナイトハイクの予定でしたが、突然の大雨で中止になったので、屋内でレクリエーションを行いました。悪天候を忘れさせてしまうほど楽しい時間となりました。明日は野外炊飯が二回もあるので、みんなで協力し、楽しみあっていきましょう!!



四日目： 朝食が野外炊飯なので朝から大忙しです。ジュニアを中心に持ち物の準備や着替え、洗面などされていました。野外キッチンに到着し、食材と器材をもらい、調理スタートです。今回の朝ごはんは【オープンサンド】です。卵を焼く係や、野菜を切る係、パンに挟む係と自分達で役割分担し、つくりました。ボリュームがあり、思った以上にお腹は満たされたようでした。引き続き、野外キッチンにて【カレー】作りを行いました。まるかじりメンバーは大好物のカレーに大喜びで、ジュニアは2日目に作った経験を存分に発揮していました。朝食に引き続きジュニアを中心とし順調に作られていました。片付けの時、少し疲れが出てきたのか動きが鈍くなり時間がかかりました。声かけをし、自分達で士気を高め、ジュニア、まるかじりメンバーお互い意識して動いておられました。夕食の時、合流一日目とは見違えるほど、沢山の会話が飛び交っていました。ジュニアとメンバーとの間にもう緊張はなく、他愛のない話で時間を忘れるくらい大盛り上がりでした。キャンプ最高潮のプログラム、『キャンプファイア』を行いました。ジュニアの様子は緊張で顔から笑みが消え、不安な様子が伺えましたが、それを救っていたのがまるかじりメンバーでした。メンバーのさり気ない話や関わりがジュニアの緊張をほぐしているようでした。キャンプファイアは少し時間が短くなりましたが、それでもジュニアは練習した内容を精一杯やり切りました。声もしっかり出ており、動きもはっきりしており、メンバーはもちろんこと、みんなこの時を楽しんでおられました。まるかじりメンバーが寝静まってから、ジュニアも交えて振り返りを行いました。ジュニア達の感想も含め、やり切った、頑張った表情が何より輝いていました。



五日目： 朝早くから掃除と大忙しでしたが、ジュニアを中心として、分担して作業をされていました。朝食は『棒焼きパン』です。ジュニアは一度作った経験からメンバーに説明をされていました。作るだけではなく、注意やコツなどポイントをしっかりと説明されていました。焼く時に初めは重たい棒をしっかりと持ち上げ焼いていましたが、どうしても腕が疲れて下がってきてしまいます。そこをジュニアがしっかりとサポートされていました。焦げ目がついた美味しそうなパンが出来、「美味しいー！」と笑顔で食べておられました。食べ終わり次第、続けて掃除を行い、午前のプログラム『思い出パズル』を作りました。みんなで一番思い出に残っている活動を絵に表しました。それをのこぎりで切り分け、名札に付けました。絵付けの時に「キレイ！」や「上手！」と誉め合っている姿や、「～したほうがいいよ。」とみんなで相談している姿があり、この短い期間でもとても仲良くなっている様子でした。昼食を済ませ、いよいよ施設を出発する時間です。元気いっばいのお礼を言い、バスに乗車し、施設を後にしました。帰りのバスでも元気いっばいに最後まで楽しんでおられました。尼崎に到着し、お別れの時です。みんなで挨拶をした後、メンバーとジュニア、お互い別れを惜しむ姿がありました。メンバーが解散した後、ジュニアの解散式です。5日間の振り返りを行い、一人一人感想を言ってもらいました。楽しい事ばかりではなく、辛いこともしんどいことも沢山ありました。それら全てを踏まえて「またやりたい！」と言っていたが、初日に比べて強くなられていました。一人ずつに認定バッヂを渡し、最後に「再び会おう」と約束をしてジュニアも解散しました。



<キャンプ総括>

「春まるかじりツアー」

毎年「春まるかじりツアー」では天候が良くなく、今回も怪しかったのですが、特に大きな心配はなく、終始楽しいプログラムが出来ました。このキャンプのグループリーダーは大人の引率者ではなく、ジュニアが担当しました。メンバーは初めは大人のリーダーに質問をしたり、遊ぼうとしたりしていましたが、時間が経つにつれ、メンバーとジュニアとの距離も縮まり、気が付けばその間で関係性が出来上がっていました。関係が深まると、メンバーはジュニアに憧れを持ち、「やってみたい」という声を聞きました。こうして毎年、夢や憧れを持ったジュニアが誕生し、実現しようと頑張られます。今年のメンバーから何名ジュニアとしてお会い出来るか楽しみです。

「みんなのちから」

今年も様々なドラマが生まれました。全てに共通しているワードが『本気』です。今回のジュニアリーダー(以下ジュニアと略)は、比較的自分の事は出来、自然と友達を手伝い、意識の高い方々でした。まるかじりメンバー(以下メンバーと略)が来てからも、早々に注目と信用を集め、着々と役割をこなしていました。こちらが何も言わなければ、あのまま「楽しかった」で終わったと思います。しかし、今回ジュニアが掲げた目標は『みんなが満足』でした。ジュニア一人一人が何かしらの違和感を持っておられました。しかし、それを表に出さずなんとなくされている姿に本気さは感じられませんでした。我々が「本気でやってる？」と投げ掛けると、ジュニア達も自分達はまだ本気じゃないと分かっているのですが、どうしたらいいか分からず大いに苦しんでおられました。悩み、考え、涙を流しながら、それでも前に進もうと必死でした。各々がキャンプ中に納得がいくこたえを見つけられたかは分かりません。しかし初日に比べ、確かな成長を一人一人から感じられました。今回経験した事は、私生活でも大いに関わってきます。忘れずに糧としてこれからも頑張っていたきたいです。(竹中 哲郎)